

二〇二二年一月一日(参加者一八名)

ベビーカー頼真つ赤なる冬帽子  
冬夕焼馳せる一矢は飛行雲  
舟券を突き上げおらぶ冬帽子  
父の部屋遺愛の冬帽掛かりいて  
学び舎を包み染めたる冬夕焼  
デイケアの母はニットの冬帽子  
汽笛鳴る明石海峡冬夕焼  
訪へば施設の父の冬帽子  
パスポート冬帽脱いで見せにけり  
墨絵めく八重の遠山冬夕焼  
冬帽のフリマの幼な頼真つ赤  
抽んでし東寺の塔や冬夕焼  
冬帽の若き漁師の耳ピアス

豊実  
かかし  
素秀  
明日香  
満天  
せいじ  
豊実  
うつき  
宏虎  
智恵子  
隆松  
せいじ  
もとこ

居酒屋に忘れものなる冬帽子  
若返る老いのお洒落の冬帽子  
一筋の黒雲かかる冬夕焼  
晩鐘の間遠にひびく冬夕焼  
納竿の視線の沖に冬夕焼  
冬帽子駅中ピアノ演奏す  
冬帽が舟漕いでゐるコンサート  
タンカーの沖に影引く冬夕焼  
お賽銭乗る石仏の毛糸帽  
と見るまに消ゆ山峡の冬夕焼  
冬夕焼土手走りゆく影法師  
狛犬に巫女の手編みの冬帽子

よう子  
満天  
ぽんこ  
こすもす  
豊実  
みづき  
うつき  
わかば  
なつき  
菜々  
素秀  
かかし

WEB句会みのる選・二〇二二年一月一日